

環境公共通信 西北版第29号

～公共牧場の役目 モー最高！！～ 牛もウッシッシ ～うれしいよー！！～



春の放牧。久しぶりの牧場に喜ぶ牛たち



牛の健康診断では、血も調べるよ

【まさ君】 ねえおべ様。家族で出かけるとたまに牛が放牧されている牧場を見るけど、西北地区には牧場は何カ所あって、どんな牛がいるの？

【おべ様】 西北には、地区の農家で使う公共牧場が8牧場あるよ。まさ君が牧場の近くに行った時は、牛に病気を移したり、ケガをしないように遠くから見るんだよ。牛は、牛肉になる「肉用牛」と牛乳を絞る「乳用牛」に別れてるんだ。

また、品種では肉質のいい「黒毛和種」、放牧（ほうぼく）がしやすい「日本短角牛」、乳を沢山出す「ホルスタイン」などがいるよ。

西北の牧場は「肉用牛・黒毛和種」の牧場だよ。今度行って見てごらん。黒い牛だよ。

<前ページの小クイズ解答↑↑→①肉用牛・黒毛和種>（参考までに②は乳用牛・ホルスタイン）

【まさ君】 え？じゃあ、僕は牧場にいる牛を食べているの？

【おべ様】 ちがうよ。肉用牛を育てる仕事は2種類あるんだ。まず、「繁殖（はんしょく）農家」は、お母さん牛を育てて、年に1回、子どもを産ませ、10か月くらいまで育てるんだ。次に「肥育（ひいく）農家」がその子牛を太らせて、お肉として食べておいしい牛にするんだよ。

牧場にいるのは、繁殖（はんしょく）農家のお母さん牛と、後でお母さんになるお姉さん牛なんだよ。

【まさ君】 牧場ってどんな役目があって、どんなことをしているの？

【おべ様】 牧場に草が生えてくる5月に、牛を放牧するよ。西北地区は牛の他に米や野菜作りをしている農家が多いから、牧場に牛をあずけると、米作りなどに時間をかけられるようになるね。

お母さん牛は、牧場で運動し草を食べることで健康になるし、田んぼや畑には向かない土地が牧場だと、土地の有効利用になるよ。

放牧中は、3週間に1回、全部の牛を集めて健康診断（けんこうしんだん）をしているよ。そして、草が無くなる10月～11月になると、牛は牧場から自分のお家（牛舎）に帰るんだ。

【まさ君】 ただ、牧場に放しておけば、僕でもかんたんに牛を飼えるのかな？って思っていたよ。

【おべ様】 あははは。子どもを産むときはお母さん牛もお家に帰るし、産まれた子牛をしつけて、病気もしないように毎日見ないとダメだよ。他に牛舎のそうじ、冬の間のエサになる草を作ること。色々な仕事があるんだ。

それでも、まさ君が牛を飼ってみたいと思ってくれれば嬉しいよ。

「環境公共」ホームページ：<http://www.pref.aomori.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>